


# DXで推進する大学病院経営のサステナビリティを高める 若手医師の働きがい改革事業 : 3つの重点事業で実現する新ビジョン



慶應義塾大学病院

高度専門医療

## 医療サステナビリティセンター【新設】

医学部長・病院長直轄：診療・教育・研究・人材配置を横断するDX司令塔  
診療科単位の派遣から、地域連携DX・医師配置・人材育成を戦略的に一元管理

- ファミリーサポートプログラム
- 若手医師エンパワメントプログラム
- KPI④プログラムの利用件数



Before

- ・診療業務にエフォートが過度に集中
- ・研究教育は“余力があれば”
- ・医師派遣は属人的
- ・突発的若手医師の疲弊
- ・病院経営は病床稼働依存

After

- ・研究時間を創出
- ・人材配置をデータで可視化
- ・若手医師が成長と貢献を実感
- ・経営・教育・地域貢献が好循環

### 【重点1】臨床教育DX

高度医療人材(外科系医師)の育成  
技術向上を実感できる教育環境

- ロボット手術デュアルコンソール
- 手術動画システム

KPI①ロボット手術の新規術者数(うち卒業10年以内の若手外科医師数)

### 【重点2】臨床研究DX

研究の停滞打破

- MDSC(データサイエンスセンター)
- 国際先端医療研究開発センター
- 生成AI倫理申請支援
- 電カル・臨床研究管理連携

KPI②臨床研究実施件数(大学院生、助教レベル若手医師)

### 【重点3】地域医療DX

持続可能な地域連携  
勤務がキャリアにつながる仕組み

- 基幹人事DBの整備
- 自治体との協議プラットフォーム

KPI③組織的人的協力に関する地方自治体との協議の実施回数

地方自治体との協議  
地域を支える人材配置

地域への医師配置実績(合計1548名)  
→個別配置から、組織的配置へ

